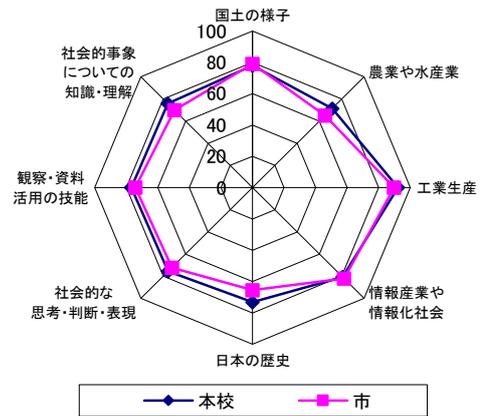


# 宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	78.0	79.1	74.9
	農業や水産業	71.5	65.1	63.7
	工業生産	92.2	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	80.9	82.2	73.1
	日本の歴史	73.1	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	75.6	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	76.8	74.3	69.2
	社会的な事象についての知識・理解	75.9	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<p>○国の名称と位置の問題では、正答率84.4%で、市の平均を5.4ポイント上回っている。</p> <p>●森林資源の育成や保護に従事している人々がかかえる問題について資料を読み取る問題では、正答率76.6%で、市の平均を8ポイント下回っている。</p>	<p>・外国語活動で国名の読み方を学習する際に場所の確認をするなど、他教科でも振り返る場面を設けることを継続していく。</p> <p>・資料を読み取る学習では、自分の気づきを文章でまとめる活動を必ず入れ、友達と伝え合う場も設ける。その際、資料中で気になるところに印をつけるなど読み取る時の工夫についても指導する。また、2つ以上の資料を同時に読み取る問題には不慣れであるので、授業中にもそのような学習を取り入れていく。</p>
農業や水産業	<p>○米作りの作業工程と作業を行う季節についての問題では、正答率74.2%で、市の平均を14.9ポイント上回った。</p> <p>●食料自給率と食料輸入額の関係について複数の資料を読み取る問題では、正答率79.7%で、市の平均を2.7ポイント下回った。</p>	<p>・総合的な学習で米作り体験をしていることで、本学習への関心が高いことが考えられる。今後も近隣の農家の方と協力しながら学習を進めていく。</p>
工業生産	<p>○工業製品の種類についての問題では、正答率95.3%で、市の平均を6.3ポイント上回った。</p>	<p>・学習する時に、身近な物や家庭にある物に当てはめて学習したことで、児童たちの理解も深まったと感じるので、今後も継続していく。</p>
情報産業や情報化社会	<p>●マスメディアの種類についての問題では、正答率82%で、市の平均を3.8ポイント下回った。</p>	<p>・メディアに触れる機会が多いものの、特定のものに限られ、ラジオや新聞を活用する児童は少ない。実物を示す、実際に使って比べるといった実体験を積むことで、その違いに気づきやすいように配慮していく。</p>
日本の歴史	<p>○室町文化を代表する書院造についての問題では、正答率79.7%で、市の平均を17.5ポイント上回った。</p> <p>○文明開化についての問題では、正答率37.9%で、市の平均を10.7ポイント上回った。</p> <p>●織田信長による天下統一に向けた政策について、複数の資料を読み取り考えて表現する問題では、正答率29.3%で、市の平均を3.1ポイント下回った。</p>	<p>・その時代におけるキーワードを関係図で繋げたり、新聞に内容とともにまとめたりすることで、理解が深まっているので、今後も継続していく。</p> <p>・出来事同士や人物同士のつながりが見えていないことが見られるので、まとめの学習では、つながりを意識しながらまとめていくように指導していく。</p>